

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【公表番号】特表2010-524274(P2010-524274A)
 【公表日】平成22年7月15日(2010.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報2010-028
 【出願番号】特願2009-544076(P2009-544076)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 1 1 B 27/034 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/91 N

H 0 4 N 5/91 Z

G 1 1 B 27/034

【手続補正書】
 【提出日】平成22年10月13日(2010.10.13)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

記録部に格納された、1つのショットに対応する複数のファイルの各々の時間的な作成された順番を判断する判断部であって、該複数のファイルがインターフレーム符号化データを含む、該判断部と、

前記複数のファイルを前記作成された順番に配列して統合する統合部であって、前記統合された複数のファイルがユーザにより単一のファイルとして編集可能となる、該統合部と、

前記順番で供給される前記複数のファイルを復号するデコーダであって、当該デコーダは、前記複数のファイルのうちの一連の第1のファイルと第2のファイルとの境界で、復号のために、前記第1のファイルの第1のインターフレーム・データが前記第2のファイルの第2のインターフレーム・データを参照する場合は、初期化されない、該デコーダと

を備える編集装置。

【請求項 2】

前記統合された複数のファイルを1つのクリップとして表示し、該クリップの編集を受け付ける受付部をさらに備える、請求項 1 に記載の編集装置。

【請求項 3】

前記判断部は、前記複数のファイルの各ファイル名に基づいて、前記作成された順番を判断する、請求項 1 に記載の編集装置。

【請求項 4】

前記判断部は、前記複数のファイルの総数または総記録時間に関する情報を取得し、前記統合部は、前記取得された情報が、前記判断部の結果に適合する場合に前記複数のファイルを統合する、請求項 1 に記載の編集装置。

【請求項 5】

複数のファイルの各々の時間的な作成された順番を判断するステップであって、該複数のファイルが記録部に格納され、該複数のファイルが1つのショットに対応し、該複数の

ファイルがインターフレーム符号化データを含む、該ステップと、

前記複数のファイルを前記作成された順番に配列して統合するステップであって、前記統合された複数のファイルがユーザにより単一のファイルとして編集可能となる、該ステップと、

デコードにおいて、前記順番で供給される前記複数のファイルを復号するステップであって、当該デコードは、前記複数のファイルのうちの一連の第1のファイルと第2のファイルとの境界で、復号のために、前記第1のファイルの第1のインターフレーム・データが前記第2のファイルの第2のインターフレーム・データを参照する場合は、初期化されない、該ステップと、

を含む編集方法。

【請求項6】

ユーザにより前記統合されたファイルが1つのクリップとして編集可能なように当該統合された複数のファイルを1つのクリップとして表示するステップをさらに含む、請求項5に記載の編集方法。

【請求項7】

複数のファイルの各々の時間的な作成された順番を判断するステップであって、該複数のファイルが記録部に格納され、該複数のファイルが1つのショットに対応し、該複数のファイルがインターフレーム符号化データを含む、該ステップと、

前記複数のファイルを前記作成された順番に配列して統合するステップであって、前記統合された複数のファイルがユーザにより単一のファイルとして編集可能となる、該ステップと、

デコードにおいて、前記順番で供給される前記複数のファイルを復号するステップであって、当該デコードは、前記複数のファイルのうちの一連の第1のファイルと第2のファイルとの境界で、復号のために、前記第1のファイルの第1のインターフレーム・データが前記第2のファイルの第2のインターフレーム・データを参照する場合は、初期化されない、該ステップと、

をコンピュータに実行させる編集プログラム。